

まぐろから見える世界¹⁰

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎



カナダ国境の南の米国 大きい。水域に集中するように ◆米国にとって得策変わってきていたといか

となるかもしれない。米国内に入漁したくないときもあるだろう。協定の破棄は米国漁船にとっても得策とは思えない」と述べている。

協定で認められていカカナ漁船が米国水域でビンナガを大量に110隻だが、カナダのビンナガ総漁獲量の約80%が米国200呎以内で漁獲され、その年の米国政府による協定の停止を通告した。

今のところ、12月に予定されている会合で、事態が好転することも、思えない。

◆米が協定停止通告◆ 米国西岸沖のビンナガマグロ漁をめぐり米

◆島嶼国の発展、見果てぬ夢◆ 資源に対して、過剰な漁獲能力が放置され

米・加・ビンナガマグロ紛争

問われる高度回遊魚の利用

この協定は、両国のビンナガ漁船が米・加双方の200呎水域内で操業することを可能と

で交渉が行われている。ロンビア州沖でビンナガの間水揚金額は、約30の停止を支持している。よつだが、関係者は、ガが豊漁で、アメリカ00万米に達している。

◆無残なWCPFC◆ この点、3月末にグアムで開催された中西



◆カナダ業界に打撃◆ カナダの業界によれば、協定ができた19

た、近年、ビンナガは、ナダ業界の被る打撃は内がビンナガの好漁場

(毎月1回掲載)